

## 第8回 第5期武蔵野市緑化・環境市民委員会記録

●日時；平成28年10月14日（金）19：00～21：00

●場所：武蔵野市役所812会議室

●出席者（敬称略）：

<委員長> 小田 宏信

<副委員長>大森 克徳

<委員> 清水 健一、櫻井 勝實、町田 光司郎、  
鈴木 圭子、石井 かおる、三浦 香澄

<事務局> 武蔵野市環境部緑のまち推進課、国際航業（株）

### ●次第

1. 開会
2. 議事（1）第7回委員会振り返り
3. 議事（2）第8回委員会
  - ① ワークショップの報告
  - ② 提言書の作成
4. その他（1）日程等について
5. 閉会

### ●発言要旨

#### 1. 第7回議事要録について

- ①第7回の議事要録については了承した。

#### 2. 第7回委員会振り返りについて

- ①地上部の緑化が難しい商業地域では、屋上緑化の面積算定率を変えるなど面積算定率を用途地域によって変える必要があるのではないかと。また、屋上緑化は生物多様性保全の効果が期待できるのではないかと。
- ②公園・緑地のあり方を工夫することで人が集まる場、憩える場を作ることができる。武蔵野市らしさを踏まえつつ、公園のデザインをいろいろな視点から見直すと良い。
- ③緑の質として生物多様性の観点は重要である。生物多様性を実現するには、多種多様な植物をそれぞれの場所に合うように配置することが重要である。
- ④市の様々な課題に対して緑を横軸として関連させ、考えることで武蔵野市らしい課題解決ができるのではないかと。
- ⑤事業者の支援として、金銭的な支援だけではなく、積極的に緑化に取り組んでいる企業をPRするような支援もあるとよい。

### 3. ワークショップの報告について

①9月3日(土)に開催した市民ワークショップの報告を行った。

### 4. 提言書の作成について

①コーディネーター的役割として緑化活動の中間支援組織があると良い。

②緑を守り育てることは長期的に考える必要があり、教育の視点も大切である。緑と教育が連携することで、子どもの発達段階に合わせ、緑に触れる・知る・考える場の創出が可能となる。

③武蔵野市民だけではなく、来訪者も含めて市の緑のブランド価値を共有し合えるとよい。市民のアイデンティティとして緑が根付くことで、市外から来た人も緑を大切にできるのではないか。

### 5. その他について

①第9回委員会は12月に開催予定である。